

① 権利者に無断で生成される AI 音声・映像・画像をどう思いますか

【回答】生成 AI 事業者がコンテンツを無断で利用し、学習及び生成に無制限に使用することを認めれば、創作者の権利を侵害し、重大な不利益をもたらします。また、創作意欲を削ぐようなことがあれば、著作権法の目的にも反することになります。

② 無断学習を可能にする現状の著作権法の改正は必要だと考えますか

【回答】当然、改正が必要だと考えます。

俳優の皆様方をはじめ、作家、作曲家、映画監督、スタッフ、実演家などあらゆるアーティストの権利と利益を守るため著作権法が必要です。

③ 生成 AI による権利侵害に対応する法整備は必要ですか

【回答】報道コンテンツの利用についても権利者の許諾を得たうえで、正確性を十分確保するなど、生成 AI 事業者に責任ある対応を求める法整備が必要です。日本新聞協会などからも早急な著作権法改正を求める声が強まっています。

EU は今年、包括的な AI 規制法を発効しました。一方、日本では EU とは異なり、法制での規制をせず、事業者の自主性にゆだねる方針です。ここにも、巨大 IT 企業を抱えるアメリカ言いなりの日本の姿勢が表われています。

日本でも、生成 AI による偽情報や誤情報の作成・流通、プライバシーの侵害や個人情報の流出を防止することが求められています。また、自律型致死兵器システムなど AI の軍事・安全保障分野での使用もやめさせなければなりません。

今回の総選挙にあたり、生成 AI に関連して日本共産党は次の政策を発表しています。

——日本版 AI 規制法を制定して、リスクに応じた厳格な管理を行い、偽情報・誤情報を排除する仕組みを作ります。

——自律型致死兵器システムなど AI の軍事・安全保障分野での使用に反対します。

——著作権法やデジタルプラットフォーム取引透明化法を改正して、プラットフォームや AI 事業者にも社会的責任を果たさせます。